

疾患名

重症敗血症および敗血症性ショック

病気について

敗血症とは、何らかの細菌、ウイルス、真菌などに感染することによって全身に様々な影響がおよび、心臓、肺、腎臓など体の重要な臓器の機能が障害される病気のことです。これらの感染症を発症すると、体内では原因となった病原体が増殖します。そして、それらの病原体の毒素によって体内の炎症を引き起こす「サイトカイン」と呼ばれる物質が放出されるようになります。サイトカインには炎症を引き起こすだけでなく、血管を広げて血圧を低下させる作用、細い血管の血液を固める作用があるため、血流が不足する臓器はさらなる傷害を受けて機能が低下します。そして、全身の様々な臓器の機能が低下し、生命を脅かすような低血圧に陥る「敗血症ショック」に進行します。

治療について

敗血症の治療は『原因となる感染症の治療』と『全身の状態を改善するための治療』の二つを行います。感染症の治療としては、速やかに病原体に適した抗微生物薬（抗真菌薬、抗菌薬、抗ウイルス薬など）の投与を行います。たまった膿を出すなどの手術を行うこともあります。全身の状態を改善するためには血圧を上昇させるための輸液を行い、血圧を上げる作用のある薬を投与し、呼吸状態を改善するための酸素投与や人工呼吸器管理などが行われます。また、腎機能が著しく悪化している場合には血液浄化療法が必要になることもあります。血液浄化療法には、血液透析、血液濾過、血液濾過透析、ポリミキシンB固定化カラムによる直接血液灌流法（エンドトキシン吸着）などがあります。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェレシス治療の種類：エンドトキシン吸着、 持続血液濾過透析

回数： ポリミキシンB固定化カラムによる直接血液灌流法は、2回まで実施できます。

持続血液濾過透析は、7日を目安として実施します。